

## 【主な出来事】

●モルドバ憲法裁判所は議会選挙結果の有効性を確認し、同選挙結果が確定した。社会党が比較第一党で35議席、民主党30議席、選挙ブロックACUM26議席、ショール党7議席、無所属3議席。

●3月末の議会招集に向けて政党間での連立協議が続いているが、調整は難航している。

## 1. 内政

### 選挙結果

#### ▼民間団体 Promo-Lex 選挙報告書の発表

・1日、民間団体Promo-Lexは、議会選挙投票日についての報告書を発表した。同報告書によれば、投票日に1118件の問題のある事案が確認された。2016年の大統領選挙の際には第一回目の投票時に267件、決選投票の際に476件の問題事案が確認されている由。多く確認された事案は、選挙人リストの不備(129件)、選挙民の集団移送(123件)などであった。

#### ▼中央選挙委員会、議会選挙の審査を終了

・3日、中央選挙委員会は、議会選挙結果についての審査を終了した。

・議会選挙の投票者は1457220人、うち在外投票は76583人、トランスニストリアでは37247人が投票した。

・各政党の獲得議席数は次のとおり。

社会党 35議席(小選挙区17議席、比例区18議席)

民主党 30議席(小選挙区17議席、比例区13議席)

選挙ブロックACUM 26議席(小選挙区12議席、比例区14議席)

ショール党 7議席(小選挙区2議席、比例区5議席)

無所属 3議席

#### ▼ACUMによる異議申し立て

・5日、ACUMは、4区(ルシュカニ)、17区(ニスポレニ、プラホトニユク民主党党首選出地区)、18区(オルヘイ)、47区(トランスニストリア)及び48区(トランスニストリア)の5つの小選挙区の選挙結果の無効を憲法裁判所に申し立てている旨明らかにした。また、選挙前及び投票日に確認された約1500件の選挙違反行為についても憲法裁判所に申し立てを行った旨述べた。

#### ▼憲法裁判所、選挙結果を有効と認定

・9日、モルドバ憲法裁判所はモルドバ議会選挙結果を有効と認定した。

・選挙結果に対する不服申し立て(選挙違反を理由に一部選挙区での選挙結果の無効を求めるものなど)については全て棄却した。

### 連立協議

#### ▼民主党、社会党との連立には否定的

・2日、ディアコフ民主党名誉議長は、民主党とACUMは同じような公約を掲げており協力について協議すべき

旨発言した。また、ディアコフ名誉議長は、現時点で民主党はイデオロギーの異なる社会党との連立は考えていないとした。更に、民主党は早期選挙には反対との立場を示した。

#### ▼ドドン大統領、社会党とACUMとの協議を促す

・6日、ドドン大統領は、社会党とACUMは多くの点で根本的な違いはあるが現在の政府を交代させるという共通の目標も有している旨指摘しつつ、ACUMはこの目標を達成するために他党と話し合いの場を見つける努力をすべきである旨述べた。その上で、憲法裁判所によって選挙結果の有効性が確認された後に協議のために全ての政党を招待する旨述べた。

#### ▼ドドン大統領、3月25日-26日の議会招集を提示

・9日、ドドン大統領は、議会を3月25日-26日に招集する旨発表した。また、国家として最善の解決策を見つけるために主要政党との協議を行うつもりであると示した。

・同日、グレチュェアヌ社会党党首は、ACUMに対し連立協議を申し入れたことを明らかにした。

#### ▼ACUM、社会党との連立協議を拒否

・12日、ACUMが社会党からの連立協議の申し出を拒否したことが明らかとなった。

・一方で、ACUMはプラホトニユク・グループの支配から国家機関を解き放つ緊急法案を提案することを明らかにした。ACUMは主な提案として、①腐敗国家についての議会決議、②検事総長、安全保障・情報庁長官、中央選挙委員会委員長、汚職対策局長官らの解任決定、③混合選挙制度の廃止、④銀行不正送金、資金洗浄、租税特赦に関する議会特別委員会の設置、を挙げた。

#### ▼ACUM、民主党との連立協議を拒否

・14日、民主党はACUMに対し、首相ポストをオファーしつつ、連立協議を申し入れた。民主党は3月17日までの回答を求めている。カンドゥ議会議長は、ACUM以外の政党とは未だ協議を行っていないとしつつ、ACUMの提案する法案等を含む如何なる提案の協議にも応じるとの姿勢を示した。

・これに対し、ACUM側はこの民主党の提案を拒絶しつつ、オリガルヒからモルドバを解き放つことを目的とする法案への議員達の支持を求めた。

### 国民投票

#### ▼中央選挙委員会、議会選挙の審査を終了

・3日、中央選挙委員会は、議会選挙結果についての審査を終了した。国民投票への投票結果は次のとおり。

・席数の101から61への削減については1144261人が投票し(投票率39.78%)賛成744529票、反対266188票であった。

・議員の罷免については1143397人が投票し(投票率39.74%)、賛成808266票、反対202497票であった。

#### ▼憲法裁判所、国民投票結果を有効と認定

・14日、憲法裁判所は、議会議員の定数を101から61に減らすこと、及び議員の罷免を可能とするものの是非を問う国民投票の結果を有効であるとした。

・カンドゥ議会議長は、ベニス委員会とも協議しつつ、議会においても必要な憲法上の改正手続きを進めていく旨述べた。

## 2. 外交

#### ▼アフガニスタンで拘束されたモルドバ人兵士帰国

・7日、アフガニスタンで拘束され、その後解放された2名のモルドバ人兵士が既にモルドバに帰国していることが明らかとなった。同兵士の解放を巡っては、大統領と政府の間の政治的火種となっていた。

#### ▼ドドン大統領のアゼルバイジャン訪問

・14日～16日、ドドン大統領は、第7回グローバル・バクー国際フォーラムに出席するためアゼルバイジャンを訪問。ドドン大統領は、同フォーラムでのスピーチにおいて、バランス外交やモルドバの中立政策などについて説明した。

・会合のマーチンにおいて、ドドン大統領は、アリエフ・アゼルバイジャン大統領やボリスフ・ブルガリア首相らと会談した。

## 3. 経済

#### ▼財政赤字、約891百万ドル

・4日、モルドバ国立銀行は、2月末時点の財政赤字が15,144.6百万レイ(約891百万USD)に上ることを発表した。

#### ▼中国資本の商業施設が倒産

・4日、モルドバにおける大手中国資本である Shan Lian インターナショナル・グループが精算手続に入ったことが明らかとなった。同社は2008年、20百万ユーロを投資し、モルドバに商業施設メガポリス・モールを開店させたが、数十億レイの赤字を抱えていた。

#### ▼2018年のぶどう生産

・6日、モルドバ国家葡萄・ワイン事務局(NVWO)は、2018年のモルドバにおけるぶどう生産量が前年比0.7%増の68万トンになると報告した。35.6万トンがワイン等の生産に利用され、29万トンが食用となった。

#### ▼2018年のワイン輸出

・7日、モルドバ国家葡萄・ワイン事務局(NVWO)は、2018年のモルドバのワインの輸出は2015～17年平均よ

りも11%増加し、2,886百万レイ(約170百万USD)、モルドバの輸出の6%を占めると報告した。主な輸出先は、ルーマニア、中国、チェコ、ロシア、カザフスタン、ウクライナ、カナダ、ベラルーシ、米国。

#### ▼モバイル・データ価格

・11日、Cable.co.ukの調査によれば、モルドバにおけるモバイル・データ1GB当たりの値段は2.82USDで世界230カ国/地域の内、第57番目に高額となっている。近隣諸国では、ルーマニアが1.89USD、ウクライナが0.51USD。

#### ▼ガブリチ経済インフラ相、ファウエイ・グループ代表と会談

・12日、ガブリチ経済インフラ相は、ファウエイ・グループ代表と会談し、モルドバにおいてIT分野の発展について協議した。ファウエイ側からはモルドバにおけるITパークを評価している旨述べた。

#### ▼政府、国道の維持・修繕に10億レイ拠出を決定

・13日、政府は、国道の維持・修繕のために10億レイ(約59百万USD)を拠出することを決定した。内、498百万レイが維持費に、333百万レイが15の国道の修繕に当てられる。

#### ▼2018年の民営化による歳入増

・14日、2018年の民営化によるモルドバ政府歳入が336百万レイ(約20百万USD)となることが明らかになった。2017年は166.4百万レイであったため、2倍の額に相当する。Vestmoldtransgaz、エアー・モルドバ、北駅等の民営化が含まれる。

#### ▼2018年平均給与、約379ドル

・15日、保健・労働・社会保障省は、2018年平均給与が対前年比13.1%増で6,446モルドバレイ(約379USD)となったことを公表した。

#### ▼2018年GDP

・15日、国家統計局は、2018年のGDPに関する指標を発表した。GDPは対前年比4%増で、1,900億レイ(約112億USD)であった。

#### 経済協力

#### ▼EU、インフラ関連プロジェクトに490万ユーロ供与

・7日、EUが、ゴミ処理、上下水道、環境保護、気候変動等のインフラ関連プロジェクトに対し490万ユーロ供与する(うち375万ユーロは市民団体向けの無償)ことが明らかとなった。2021年まで有効な“Empowering Moldovan citizens”プロジェクトの枠組みに沿って行われる。(注:全て1USD=17モルドバレイで計算)

## 4. 各種統計

#### ▼法の支配指数、世界126カ国中83位

・5日、世界司法プロジェクトによる2019年法の支配指数が発表され、モルドバは126カ国中83位と評価された。

(了)